

事業完了（廃止等）報告書

調査研究期間等

調査研究期間	委託を受けた日 ~ 平成30年3月16日
調査研究事項	委託研究 > ・外国籍の者に関すること ・その他既存の夜間中学における教育機会の提供拡充に資すること
調査研究のねらい	平成28年度より本校でも既卒者の入学が始まり、現在2名の既卒者が在籍している。 また近年、日本語会話習得が十分でない外国籍生徒が増えている現状がある。母語が英語圏でもなく漢字圏でもない国からの入学者が増加している。そのため個々の生徒の状況に応じた学習指導のあり方や指導の仕方が課題となっている。 そこで、 入学希望者の国籍また年齢層、未就学や既卒によってどのような教育課程・カリキュラム編成を行うことが適切なのか、また魅力ある夜間学級にしていくための行事や教育機会の提供拡充していくためにはどういった取り組みが必要かを調査・研究を行う。 外国籍の者の中の特にアラビア語圏など、受け入れ実績の少ない外国籍生徒の教育について、日本語指導を含めた学習指導の調査・研究。また外国籍の生徒への教育機会の提供に資する取り組みを調査・研究する。
調査研究の成果	本年度も多国籍化が進み、高齢の日本人の方・渡日後間もない英語圏でない若年層の生徒など、個人への対応をよりきめ細かく指導する必要性が高まった。そのため、まず入学時に個人の目的や目標をはっきりとさせることにした。コースごとにできる限り複数教師を配置し、生徒のニーズに対応できるようにした。また、月に1回の情報交換会での生徒の進捗・理解度なども、より細かく報告するようになった。 小・中学校の国語の学習指導要領を基本として、日常的によく使う日本語やすぐに役立つことを目指した教材を増やすようにした。 進学を希望する生徒に対しては、特に長期の休みなど、補習を入れるなどして、日ごろの不足しているところを補うようにした。 夜間学級に対する理解を広めるために、地域の学校の研修に講師として参加した。歴史を含めて現在の状況、これから求められるものを発表することができた。 定期的に（月1回）研究委員会を開き、コース間の国語指導

	<p>状況や進捗を確認し、共有するように努めた。</p> <p>夏季休業中には、外国人に向けた日本語の指導法について外部講師を招いて校内研修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板書は文字で説明するよりも、もっと視覚的に訴えたほうが、効果的である。 ・ルビを打つときは、下に打つようにしたほうが理解しやすい。 <p>などの方法を知り、早速実践することでかなりの理解力アップにつながった。</p> <p>国語・数学の研究授業を行い、夜間での指導が浅い教員も含めて、実践力の向上を図った。</p> <p>全ての生徒が一年間の学習の総まとめとして、作文集第40号「希望」を発行することができた。自分の考えを日本語でまとめることは、日本語力をよりつけることにつながった。</p> <p>また、これを使って、次年度への個々の目標設定や課題を確認することが出来た。</p> <p>数学の学習到達度項目について今一度見直した。個人的にどこまで理解できているのか、わかるようにした。これで、本人も教員も項目を重複することなく進めるようになった。</p>
--	---

調査研究協力校の概要（本事業計画書を提出する年の5月1日現在の状況）

学校名	岸和田市立岸城中学校夜間学級
設置概要	所在地：岸和田市野田町2丁目19番19号 設置時期：1969年 大阪府教育委員会より認可 設置の経緯：夜間補導学級が前身
施設	・専用教室6教室 ・エレベーター
生徒の状況	生徒数：63名 (入学条件別)既卒2名 (学年別)1年4人、2年8人、3年51人 (国籍別)日本(10)中国(3)台湾(2)韓国・朝鮮(2)フィリピン(18)ネパール(7)タイ(4)インド(9)スーダン(4)シリア(4) (年代別)10代(3)20代(14)30代(14)40代(10)50代(10)60代(7)70代(5) 入学手続等：学校・岸和田市教育委員会総務課学事担当が受付 進学：全日制高校(2)・定時制高校(1)平成28年度実績

教育活動等の状況	授業時間：1日4時間 年間総授業日数：195日 年間総授業コマ数：700 授業形態：通常及び少人数、TT 教科書・教材：教科書を元にした教材を作成 学校行事：運動会・文化祭出品・料理集会・お別れ会 近畿夜間中学校生徒会連合会の行事にも参加 就学援助に類する経済的支援：有り 給食：無し
----------	--